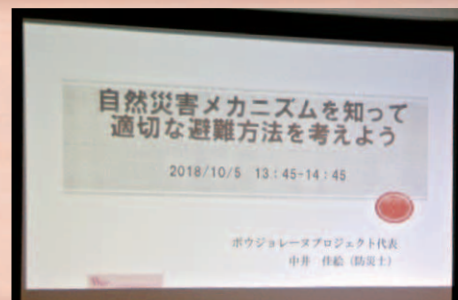


防災士による 講演会を行いました (熊野町議会災害対策特別委員会)



熊野町議会災害対策特別委員会では、災害に関して必要な事項を調査するにあたり、専門家である防災士から必要な知識を得ることを目的として、10月5日に「防災士による講演会」を開催しました。講師として、防災士の中井佳絵さんをお招きし、貴重なお話を伺いました。



講演内容

- ① 災害を最小限にするための知識
 - 自然災害のメカニズムとその影響
 - 基本的なハザードマップ・気象情報の見方とリスクの伝え方
- ② リスクマネジメント※1 等
 - リスクの軽減を図るためのリスクマネジメント（BCP※2の策定）
 - BCPを機能させるために必要なリスクコミュニケーションについて

※1 リスクマネジメント：さまざまな危険を最小限に抑える管理運営方法

※2 BCP：業務継続計画

○ 参考：避難行動【内閣府(防災担当)の避難勧告等に関するガイドライン(避難行動・情報伝達編)から抜粋】

立退き避難が必要な居住者等に求める行動	
避難準備・高齢者等避難開始	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難に時間のかかる要配慮者とその支援者は立退き避難する。 ・ その他の人は立退き避難の準備を整えとともに、以後の防災気象情報、水位情報等に注意を払い、自発的に避難を開始することが望ましい。 ・ 特に、突発性が高く予測が困難な土砂災害の危険性がある区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いでは、避難準備が整い次第、当該災害に対応した指定緊急避難場所へ立退き避難することが強く望まれる。
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予想される災害に対応した指定緊急避難場所へ速やかに立退き避難する。 ・ 指定緊急避難場所への立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、「近隣の安全な場所」への避難や、少しでも命が助かる可能性の高い避難行動として、「屋内安全確保」を行う。
避難指示（緊急）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既に災害が発生していてもおかしくない極めて危険な状況となっており、未だ避難していない人は、予想される災害に対応した指定緊急避難場所へ緊急に避難する。 ・ 指定緊急避難場所への立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、「近隣の安全な場所」への避難や、少しでも命が助かる可能性の高い避難行動として、「屋内安全確保」を行う。

≪ 講師紹介 ≫

中井 佳絵 さん (ボウジョレーヌプロジェクト代表・防災士)

大学卒業後、広島にてフリーアナウンサーとして活動。RCC「スポーツジョッキー」などのラジオ番組、広島テレビ「ズームアップくれ」やTSS「ひろしま満点ママ」などのテレビ番組に多数出演。その後、法政大学大学院にて政策学修士号を取得し、法政大学大学院地域創造システム研究所 特任研究員、徳島大学大学院 非常勤講師等を経て、現職。これまで何万人もの老若男女を対象に司会・インタビューや出前授業・講演などを実践してきた経験を生かし、「防災減災を分かりやすく伝える講師」として多方面で活動されている。

次の定例会は

12月11日(火曜日)
開会を予定しています

議会だより題字

小田原正龍さん

「くまの議会だより」は再生紙を使用しています。



「くまの議会だより」は再生紙に「ソイシール」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。